

学生参画型FDの活動紹介(学生FD組織の活動報告)

主催：札幌学院大学 FD センター

日時：2014 年 3 月 26 日（水）16:00～17:00

会場：B201 教室

対象：本学の教職員（事前の申し込みは不要です）



FD センターは、2011 年度から 3 か年計画で「学生参画型 FD」の構築に取り組んできました。そのねらいは、次の 2 点です。

- ✓ 学生を学びの主体者という立場で FD 活動に参画させ、学生と教職員が協働でより良い「学びの場」を創る。
- ✓ 学生が大学運営に主体的に参画するプロジェクトは、その活動を通じて学生の自己効力感を高め、社会貢献への意欲と態度、ならびに実践的な能力（「社会人基礎力」など）を育む。

2012 年度、13 名の学生有志が学生 FD 組織準備会を結成し、FD センター長に「学生 FD 組織設置趣意書」を提出しました（裏面参照）。FD 委員会はこれを正式に認知し、その活動を支援することを決議しました。2012 年度から 2013 年度にかけて、学生 FD 組織は、学生の視点から教員の教育活動を紹介する映像コンテンツを制作したり、あるいはアクティブラーニングを取り入れた授業の評価（担当教員へのインタビューを通じた授業の分析と改善提言など）に取り組んでいます。

今回の FD 研究会は、学生 FD 組織のメンバーが、組織発足の経緯やこの間の活動、今後の課題などを報告します。これを受け、参加者が相互に語り合う場にしたいと思います。

プログラム概要：

16:00～16:30 本学における「学生参画型 FD」の報告

- ・ 学生 FD 組織の発足とこれまでの取り組み、そしてこれから・・・
- ・ 2013 年度学生 FD サミット参加報告

16:30～17:00 質疑応答、フリーディスカッション

獲得目標：

- ・ 本学に発足した学生 FD 組織の目的、活動内容と成果、今後の課題を認識する
- ・ 学生と教職員が連携・協力した教育改善について、その将来像を考えるきっかけを得る

会場は“B館2階のアクティブラーニング教室”です

教室の壁の一部（前方部分）を撤去し、ガラス張りにします。

黒板をホワイトボードに代えます。ここに複数の映像を投影できます。

グループ学習用に、プロジェクタ付きのホワイトボードとパソコン、タブレットを用意します。

今回の FD 研究会は、この新たな教育環境を体験いただきながら、本学における「学生参画型 FD」について考えてみたいと思います。



問い合わせ先：FD センター事務局（教務課・内線 3238）

[FD センターのホームページ](#)：google から「SGU FD」で検索

学生FD組織の設置趣意書（13名の学生有志から構成される準備会から大学への申し入れ）

2012年7月12日

札幌学院大学 FD センター長 小杉伸次 様

学生 FD 組織準備会

学生 FD 組織について

私たちは学生FD組織として、学生・各組織との連携・意見交換などを通して、FDセンターと共に札幌学院大学における学習・生活環境の向上に取り組みたいと考えております。

私たちは大学のFD活動に学生が参画する意義を「新たな観点による改善点の発見」と「学生・各組織間の連携の柔軟化及び円滑化」の二点と捉えています。

一点目は、より直接的に学生の視点を取り入れて頂くことで、これまで見過ごされてきた改善点の発見に繋がるという考えによるもので、二点目は、各組織間(バリアフリー委員会、PC サポートデスク、学生広報チーム、オープンキャンパススタッフ等の学生組織)のより良い協力体制の構築を模索し働きかけ、さらに学生と各組織との繋がりを深め、それによる学生側からの意見の発信を促進するという考えによるものです。

以上二点の意義を通して、さらなる学習・生活環境の向上を図ることができると考えております。

私たちは以下の観点から様々な活動を行っていきたくと考えております。

I. 学習環境を変えるという観点

学生が意欲的に学習する場の設置・拡大・改善を図る。

II. 学生を変えるという観点

学生一人一人が大学生活に新たな目的・目標を持てるように働きかける。

III. 教職員を変えるという観点

教職員に学生の意見を積極的に取り入れて頂き、意欲的に学修支援が行われるよう働きかける。

これらの観点から、札幌学院大学における学習・生活環境の改善を通して、札幌学院大学に属する全ての学生の意識・意欲および教職員の学修支援に対する関心を高め、促すことに繋げていきたいと考えております。そのため、教職員の皆様と共にFD活動に取り組むことを望みます。

どうぞ、よろしく願い致します。

学生FD組織準備会

(メンバー名略)

学生FDに取り組んで気づいたこと(メンバーの一言)



根幹～歩み寄るために～

最初は「FDって何？」という感じだった。大学側に一方的に何かを求めるのか、学生側に一方的に求めるのか。様々な捉え方ができ、説明だけはイメージできなかった。そんな時、他大学の学生FD活動報告を聞き、どちらかを一方的に糾弾して変革させるのではなく、双方が歩み寄り、結果的に大学全体が良い方向に向かう。そう自分のなかで整理がついた。同時に難しいことだとも感じた。私は学生なので、どうしても大学側に何かを求めるような考えが出てくる。だから今はいろんな角度から、何に困っているのか、どんな改善ができるのか、情報という素材を集めること。その素材をどう調理するか検討することが必要と感じている。



発足に向けて。そしてこれから…

本学の学生FD組織は発足に向け長い時間を費やしました。最も時間をかけたのは、大学に提出する『学生FD組織設置趣意書』の作成でした。学生FDはどのような観点から活動を行なっていくのか、など二か月間にわたり毎週長時間の話し合いを経て大学に趣意書を提出し、ようやく認可されることになりました。私たちの組織の名称はSGUsersです。これには学生と教職員が協同して支援に力を尽くすというような意味が込められています。発足したばかりの組織ですが、これから学内の改善に向け、教職員と共に力を尽くしていきたいと思っております。



新たな発見

他大学の学生と交流し、活動を見聞きすることで、自分の大学においても「こうしたらよいのではないか」と新たに気が付かされるきっかけとなった。また、大学をよりよくしていこうという思いが一層強くなった。学生FD活動を通して、「考える、発言する、行動する」ことがどれ程大切かということを実感した。私は発言するのが苦手であるが、自分の気持ちを素直に相手に伝えられるよう努力していきたいと思うようになった。